

原始卵胞の静止期維持機構の解析と 体外培養系への応用

永松 剛 教授

山梨大学 生命工学科生殖細胞発生研究室

2026年9月16日(水) 16:00~17:00

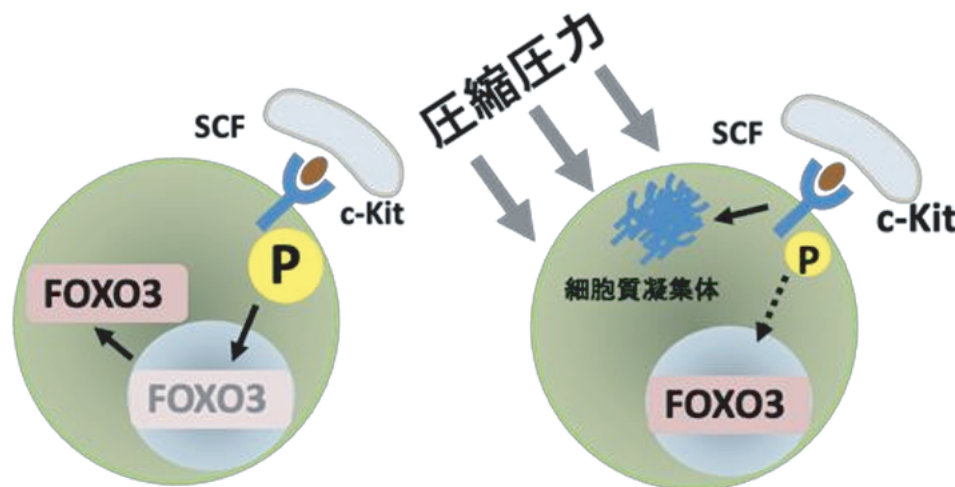
森脇和郎ホール

座長：井上 貴美子（統合発生工学研究開発室室長）

Hybrid



←聴講申込はこちらにご記入
または下記アドレスに
ご連絡ください



卵子形成を支える卵巣微小環境に着目し、
力学刺激が原始卵胞の形成・維持・活性化や
卵母細胞の運命をどのように制御するのかに
ついて最新の研究成果を紹介します。またこ
れらの知見を元に新たな生殖医療への応用展
望についてお話ししたいと思います。

当セミナーは、学生、研究者、技術者を対象としたものです。理化学研究所以外からご参加の方は、所属する大学または研究機関が発行する身分証をご持参になり、守衛所にて入構証をお受け取りください。

バイオリソース研究センター：
info-brc-seminar@ml.riken.jp